

議員氏名：大沼 英樹

議案番号：議案第69号

案件名：令和6年度二宮町一般会計補正予算（第6号）

討論内容：

私は、議案第69号に反対の立場で討論をいたします。

私は、このラディアン周辺の庁舎関連計画については、村田町長特有の意思だというふうに思っております。それでも落ち度がなく進めれば、ここまで難航はしていなかった。事前に治水対策を施せばよかったということも1つです。

しかし、基金に建設費を積み上げることに必死で、補正予算減額という方法で決算に大きな余剰を出し続け、あっという間に10億円もの基金を積み上げることに成功しました。

しかし、これはいけません。道路、公園、施設、学校など整備不足、予算不足を耳にしているのですから、庁舎基金を積み上げるために、行政サービス、インフラ整備の費用を削ったということです。

公園などの高木もこの間に随分と大きくなりました。そのため、伐採するのに1本50万円です。予算を絞ってきたことが大きな反動となって戻る一例です。

浸水被害の後、民意は大きく変わっていると感じています。今まで町政や議会に興味のなかった方から庁舎反対の声が聞こえ、新庁舎建設計画の見直しを求める署名が開始されると聞いています。これまで、豪雨浸水の被害を受けて急遽、建設場所を変更した大子町の新庁舎計画事例や、同じく豪雨による浸水で機能不全に陥った丸森町役場の事例などを取り上げ、浸水エリアの危険性を何度も訴えてきました。

町民、町事業者の浸水被害を低減する対策もせずに、多くの町民が大切だと感じている自然が身近に感じられる果樹公園を廃止し、鉄筋コンクリートの箱物建設では失望する町民も多いのではないのでしょうか。

浸水災害を目前に、治水対策や計画を持たず、被災町民を置き去りに優先して進める新庁舎計画は異常としか思えません。

質問でも言いましたが、強い反対をこり押しすれば必ず強い反応が返ってくることになります。町民と直接関わる職員を守るということは、耐震された建物だけではなく、町民との良好な関係性が非常に大事です。

これだけおかしい事業を進めようというのですから、建設後に影響する町の未来に対し、大きな責任を持っていただき取り組んでいただきますよう苦言を申し上げ、反対討論いたします。